

施策カルテ

1 施策の位置付け

担当課 スポーツ振興課

総合計画 政策の柱	市民の学び意欲と豊かなこころを育むために	政策名 (基本施策名)	生涯にわたるスポーツ活動を促進する	取組の 基本方向	「生涯にわたるスポーツ活動を促進する」ため、市民が自分に合ったスポーツに親しむための「スポーツ活動環境の充実」、より効果的にスポーツ活動を促進するための「スポーツを支える人材の育成、団体の活性化」に、重点的に取り組めます。	政策目標 (基本施策目標)	市民それぞれの目的に応じた自主的・継続的なスポーツ活動が活発化し、暮らしの中にスポーツがより深く浸透しています。
--------------	----------------------	----------------	-------------------	-------------	---	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	スポーツ活動環境の充実		④ 施策の達成状況	施策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)		
	②施策目標	市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組んでいます。		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値				
③施策を 取巻く環境	国・県等の動向	国においては、平成12年9月に「スポーツ振興基本計画」(平成18年9月改定)を策定し、スポーツの振興を通じた子どもの体力向上方策や地域におけるスポーツ環境の整備充実方策などを主要な課題として掲げている。 また、県においては、本市の競馬場跡地などで「総合スポーツゾーン」構想を進めている。		指標① (総合計画に基づく指標)	20歳以上の市民の週1回以上のスポーツ活動実施率 (中核市行政水準調査から)	34	36	39	41	44	85.9%		
	外部意見 その他	市議会からは、地域スポーツクラブの育成や市体育館の早期整備、ジャパンカップサイクルロードレースの充実などについて、一般質問等により指摘を受けている。 また、市民の声からも、新たな自転車レースの開催やスポーツ施設の早期整備などについて意見をいただいている。		指標②									
				指標③									
				指標④ (特記事項)									
⑤ 市民意識調査結果	市民の 施策満足度	31.3%	市民の 施策重要度	48.2%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	地域スポーツクラブの新規設立は2クラブにとどまっているものの、厳しい財政状況の中、スポーツ施設の整備を進めるとともに、各種大会を開催することなどにより、スポーツ活動を実施する人の割合は目標値を上回っている。	⑦ 現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点	マラソン大会の参加者やジャパンカップサイクルロードレースの観客者数は過去最高となるとともに、スポーツ施設の利用者も目標値を上回っている。また、地域スポーツクラブの設立やスポーツ広場整備補助金などにより、市民が身近なところでスポーツに親しむ環境が整いつつある。
	必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)		● 増加している	横ばい	減少している	説明	少子高齢化の進行や地域コミュニティの希薄化などに伴い、健康づくりや生きがいづくり、まちづくりなど、スポーツの果たす役割は増大しており、身近な場所でスポーツができる環境の整備やスポーツをするきっかけとなる事業の充実が求められている。	改善の必要な点	身近な場所でスポーツができる環境を整えるため、さらなる地域スポーツクラブの設立・運営を積極的に支援していくことが必要である。 また、厳しい財政状況の中、財源の確保を図りながら計画的な施設の整備を図るとともに、スポーツ施設のあり方について検討する必要がある。				
	適切性 (適切な事務事業の選択、実施)		● 十分である	● 不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	スポーツ大会開催事業補助金については、競技団体による自主運営も可能であることから、見直しを図る必要がある。						
	有効性 (政策目標への効果)		● 十分である	● やや不十分である	不十分である	説明	マラソン大会やジャパンカップサイクルロードレースなどの各種大会の開催や計画的な施設の整備などにより、スポーツ活動環境の充実に効果をあげている。						

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	市民が主体的に自分に合ったスポーツに取り組むため、身近な場所で気軽にスポーツに親しめる、地域スポーツクラブの設立・運営を積極的に支援し、各種スポーツ大会・教室の開催や老朽化するスポーツ施設の計画的な整備・修繕をするとともに、今後のスポーツ施設のあり方について検討していく。	⑨政策評価 会議意見
	重点事業	地域スポーツクラブ育成事業について、設立クラブ数を増加させるため、クラブ設立に向けた気運醸成のための説明会をあらゆる機会をとらえて積極的に行うとともに、既存クラブの早期自立に向けた支援を継続する。ジャパンカップサイクルロードレースの開催について、サイクルスポーツの振興はもとより、本市のPR・イメージアップ、地域の活性化に資するため、これまでのレースに加え、新たに中心市街地におけるレース(クリテリウム)を開催する。	
	見直し事業	スポーツ大会開催事業補助金(県との協調補助)については、対象とする大会は減少しており、県と連携し廃止する。	

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	地域スポーツクラブ活動支援 担当課 スポーツ振興課	市民	H14	地域スポーツクラブ数	2	6	6,652	7,748	A	継続	身近な場所で気軽にスポーツに親しむために、地域スポーツクラブは有効であることから、新たなクラブ設立に向け、あらゆる機会をとらえ説明を強化するとともに、設立準備組織に支援する。また、既存クラブの自立に向けた支援を継続する。
					2	4					
2	スポーツ施設等の整備 担当課 スポーツ振興課	市民、利用者	-	スポーツ施設利用者数	1,290,000	1,315,000	285,586	177,803	A	継続	スポーツ活動を促進するために、スポーツ施設の整備は重要な事業であることから、市民ニーズや施設の老朽化等の状況を的確に捉えながら、計画的な施設改修や機能向上を行うとともに、今後のスポーツ施設のあり方について検討する。
					1,442,000	1,445,000					
3	ジャパンカップサイクルロードレースの開催 担当課 スポーツ振興課	市民、市外住者	H4	観客者数	61,000	61,000	78,427	67,856	A	拡大	ジャパンカップサイクルロードレースは、本市サイクルスポーツの根幹をなす大会であり、サイクルスポーツの振興、本市のPR・イメージアップ及び経済効果に資するため、既存レースを継続するとともに、中心市街地活性化にも寄与することから、新たに中心市街地レース(クリテリウム)を開催する。
					65,000	68,000					

様式 2

4	体育文化振興公社運営補助金		財団法人	S 5 6	スポーツ施設利用者数	1,000,000	1,030,000	163,735	167,831	A	継続	宇都宮市体育文化振興公社は、本市のスポーツ振興事業の主体的役割を担っていることから、引き続き補助するとともに、市からの円滑な事務移管と新公益法人制度のもと、適切な法人形態に移行できるよう、財団と協議を進める。
	担当課	スポーツ振興課				1,170,265	1,181,621					
5	市民体育大会の開催		市民	S 3 8	参加者数	4,373	4,500	7,611	7,396	B	継続	市民体育大会は、本市競技スポーツの振興に寄与する大会であるため、市民ニーズを踏まえるとともに、競技団体と協議を行い、種目の追加・廃止など大会に参加しやすい環境を整え、継続する。
	担当課	スポーツ振興課				4,373	4,151					
6	マラソン大会の開催		市民、市外在住者	S 6 2	参加者数	4,900	5,000	5,771	5,882	B	継続	市民の健康づくり、生きがいがづくりにマラソン大会は効果的であり、今後も参加者の増加が続くと予想されることから、安全かつスムーズな大会運営に努める。また、大会会場である清原中央公園では手狭になることが予想されるため、大会種目の整理や運営方法、開催場所などの検討を進める。
	担当課	スポーツ振興課				4,736	5,594					
7	スポーツ大会出場事業補助金		スポーツ団体・個人	-	スポーツ大会参加者数	350	350	2,367	1,640	B	継続	全国大会への参加は市民の競技力向上につながるが、出場に係る負担が大きいことは、スポーツ振興の妨げになることから、継続的に支援を行う。
	担当課	スポーツ振興課				306	372					
8	スポーツ大会出場補助金（応援）		県外で開催される全国大会に出場する小中高校	H 2 1	応援補助実施校数	-	2	-	1,920	B	継続	応援団を編成する大規模な全国大会への参加は、競技力の向上及び本市のPRにつながるが、参加にかかる負担が大きいことはスポーツ振興の妨げになることから、継続的に支援を行う。
	担当課	スポーツ振興課				-	3					
9	スポーツ広場整備補助金		スポーツ広場を設置する団体	H 2 1	補助件数	-	4	-	1,048	B	継続	身近な場所で気軽にスポーツに親しむ場を充実するために、スポーツ広場の整備は有効であるため、補助を継続する。
	担当課	スポーツ振興課				-	2					
10	冒険活動事業（学校利用）		小4児童，中1生徒	H 8	施設利用者数	8,821	8,818	21,878	21,878	C	継続	次代を担う心豊かな宮っこづくりの推進のため、冒険活動事業は有効であることから、義務教育の中で継続して実施していくことが必要である。そのためには、効果的なプログラムと確かな指導力の確保が必要であり、小中一貫教育も踏まえ引き続き研究を進める。
	担当課	スポーツ振興課				8,808	8,508					
11	冒険活動事業（一般利用）		市民	H 8	主催事業参加者数	3,000	3,000	5,986	5,986	C	継続	市民の野外でのレクリエーション活動を推進するため、今後も関係団体等と連携を深めながら、体験学習施設としての機能を高め、青少年の健全育成や家族のふれあい、指導者養成などの多様な市民のニーズに応えながら事業を推進する。
	担当課	スポーツ振興課				2,507	2,266					
12	ニュースポーツ普及促進事業		市民	H 1 4	参加者数	130	130	1,035	357	C	継続	地域において、市民がより自発的に、いつでも気軽にスポーツに取り組めるよう、市ホームページを活用したニュースポーツの情報提供や用具の貸出、大会の開催を行う。
	担当課	スポーツ振興課				71	130					
13	スポーツ大会開催事業補助金		スポーツ団体	-	スポーツ大会開催事業補助金	10	15	1,071	210	C	終了	対象とする大会は減少しており、県と連携し廃止する。
	担当課	スポーツ振興課				9	12					
									580,119	467,555		